

2022年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月14日

上場会社名 CRGホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7041 URL https://www.crgh.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古澤 孝
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部長(氏名) 小田 康浩 (TEL) 03-6302-0834
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第1四半期の連結業績(2021年10月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第1四半期	5,338	10.2	152	40.1	135	△29.4	92	△23.4
2021年9月期第1四半期	4,844	△15.7	109	△19.1	192	42.1	121	49.1

(注) 包括利益 2022年9月期第1四半期 92百万円(△23.4%) 2021年9月期第1四半期 121百万円(49.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第1四半期	16.93	16.75
2021年9月期第1四半期	22.13	21.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年9月期第1四半期	5,815	2,875	49.4
2021年9月期	5,144	2,781	54.1

(参考) 自己資本 2022年9月期第1四半期 2,874百万円 2021年9月期 2,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年9月期	—	—	—	—	—
2022年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日~2022年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,165	7.5	170	16.3	170	△29.0	110	△24.7	31.05
通期	21,100	8.3	450	19.5	455	△4.1	290	△5.8	52.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年9月期1Q	5,482,000株	2021年9月期	5,477,000株
② 期末自己株式数	2022年9月期1Q	126株	2021年9月期	126株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年9月期1Q	5,480,895株	2021年9月期1Q	5,470,738株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行、及び経済社会活動の抑制が正常化に向かう中で、厳しい状況は徐々に緩和されつつあります。一方、変異型ウイルスの出現など、同感染症再拡大に伴う影響の長期化など、景気の先行きは見通しにくい状況が続いております。

当社グループが属する人材サービス業界におきましては、2021年12月の有効求人倍率（季節調整値）は1.16倍、完全失業率（季節調整値）は2.7%となり、緊急事態宣言の解除に伴う事業再開に伴い人材需要は徐々に回復傾向にて推移しました。

このような市場環境のもと、当社グループにおきましては「人のチカラとIT」の融合を企業理念として掲げ、主力の人材派遣紹介事業における継続的な労働力の提供に加え、業務効率化の支援を行うことを目的に、人材派遣紹介事業にて培ったナレッジを活かした採用支援・BPOなどの各種代行事業や、AI、RPA（注1）、OCR（注2）を活用したITソリューション事業を行っており、人手不足という大きな課題を解決するためのトータルサポートを提供してまいりました。また、近年、潜在労働力として期待されているシニア、女性、グローバル人材の活用や、障がいをお持ちの方の雇用機会の創出や処遇の確保にも注力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う産業構造の変化と働き方改革の急進といった事業環境の変化を機会と捉え、新たな顧客需要への対応強化や各種新規サービスの収益化に注力いたしました。完全子会社である株式会社キャストイングロードにおいては、SaaS型採用業務効率化・改善サービスである「採用見える化クラウド」について、株式会社ウィルビーと業務提携契約を締結し、OEM提供を開始いたしました。障がい者雇用サポートオフィスを展開する株式会社パレットにおいては、新規顧客の受注拡大に伴い、茨城県土浦市に「Canvas水戸第2オフィス」を開設いたしました。また、子会社であるCRGインベストメント株式会社においては、保険選びにおけるDXとユーザーのデジタルシフトを可能とするプラットフォーム「リアほ」の提供に向け事業を推進する株式会社WDC、電力小売事業を主力事業としガス小売事業や家電・スマートフォンの保証サービスを提供する株式会社グランデータ、ファッションブランドの生産・マーケティング・ECサイト運営・在庫管理・分析などの一気通貫サービスを提供する株式会社Branditの3社へ出資を行い、当社グループとの業務提携契約を締結いたしました。これら資本業務提携により、カスタマーサポート・各種事務作業・新規顧客開拓営業など、当社グループの主力事業である人材派遣紹介事業やHR関連事業との相乗効果を創出してまいります。

今後も、蓄積したノウハウを活用したアウトソーシング化を促進するとともに、クライアント企業のDX・業務効率化の支援に尽力するとともに、M&A・出資や業務提携等によるHR関連事業の拡大を図ってまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,338百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は152百万円（前年同期比40.1%増）、経常利益は前年第1四半期連結会計期間に雇用調整助成金を計上しましたが、事業再開に伴い雇用調整助成金収入がなくなったことなどにより135百万円（前年同期比29.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は92百万円（前年同期比23.4%減）となりました。

なお、当社グループは、人材派遣紹介関連事業を主な事業としており、他のセグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

(注) 1. Robotic Process Automationの略。主にパソコンで作業している定型化された業務を、ロボットにより自動化する取り組みのこと。

2. Optical Character Recognition/Readerの略。手書きや印刷された文字を、イメージキャナやデジタルカメラによって読みとり、コンピュータが利用できるデジタルの文字コードに変換する技術のこと。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は5,815百万円となり、前連結会計年度末に比べ671百万円増加いたしました。これは主に、投資その他の資産その他が23百万円減少したものの、投資有価証券が355百万円、受取手形及び売掛金が149百万円、現金及び預金が147百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は2,939百万円となり、前連結会計年度末に比べ576百万円増加いたしました。これは主に、賞与引当金が37百万円、未払法人税等が37百万円減少したものの、流動負債その他が365百万円、短期借入金が300百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,875百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が92百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済環境におきましては、引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、経済や各種政策の動向、景気の先行きに対する不確実性は継続しています。

現時点において、人材需要は回復傾向にあり、中長期的には構造的な人手不足は継続していくことを想定しておりますが、同感染症の再拡大などにより、顧客企業の採用計画の見直しや中止、自社採用での人材需要の充足など、当社グループの主力事業である人材派遣紹介事業を取り巻く環境は見通しにくい状況にあります。

産業構造の変化と働き方改革の急進という事業環境の変化を受け、人材派遣紹介事業におきましては、経営基盤の強化に加え、既存顧客に対する提供サービスのシェア拡大を図るとともに、当該事業にて培ったノウハウを活かしたアウトソーシング化の推進や、新規事業の創出に注力してまいります。また、同感染症拡大に伴い、顧客企業内におけるDXの促進というニーズを捉え、RPAやOCRによる業務効率化サービスの提供に努め、売上基盤の拡大に尽力してまいります。

2022年9月期の連結業績予想としましては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う人材需要の減少が、2022年9月期末にかけて回復していくことを前提に、顧客需要の緩やかな回復に伴う人材派遣紹介事業の増収、事業環境の変化を機会と捉えた各種新規サービスの収益化を見込んでおります。

以上の結果、売上高は21,100百万円、営業利益は450百万円、経常利益は455百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は290百万円を見込んでおります。

<新型コロナウイルス感染症の影響について>

新型コロナウイルス感染症による影響につきましては、収束時期等を正確に予測することは困難な状況であります。当社グループでは、現在の状況及び入手可能な情報等に基づき、当連結会計年度末にかけて徐々に売上高が当該感染症拡大前の水準に回復するものと仮定して、連結業績予想を作成しております。なお、新型コロナウイルス感染症による影響は不確定要素が多く、今後の当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,998,787	2,146,673
受取手形及び売掛金	2,275,758	2,425,301
その他	138,449	187,196
貸倒引当金	△5,221	△5,579
流動資産合計	4,407,773	4,753,592
固定資産		
有形固定資産	155,794	152,124
無形固定資産	110,335	106,493
投資その他の資産		
投資有価証券	200,714	556,592
その他	278,357	254,566
貸倒引当金	△8,520	△7,801
投資その他の資産合計	470,550	803,356
固定資産合計	736,680	1,061,975
資産合計	5,144,454	5,815,567
負債の部		
流動負債		
買掛金	54,478	55,503
短期借入金	250,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	117,184	86,584
未払法人税等	58,747	21,282
未払費用	1,237,362	1,255,065
賞与引当金	90,933	53,130
その他	533,819	899,552
流動負債合計	2,342,525	2,921,117
固定負債		
長期借入金	9,552	9,552
その他	10,861	9,173
固定負債合計	20,413	18,725
負債合計	2,362,939	2,939,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	441,240	441,965
資本剰余金	670,457	671,182
利益剰余金	1,669,086	1,761,891
自己株式	△111	△111
株主資本合計	2,780,673	2,874,928
非支配株主持分	841	795
純資産合計	2,781,515	2,875,724
負債純資産合計	5,144,454	5,815,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2021年12月31日)
売上高	4,844,125	5,338,455
売上原価	3,897,296	4,329,281
売上総利益	946,828	1,009,173
販売費及び一般管理費	837,815	856,436
営業利益	109,013	152,737
営業外収益		
助成金収入	83,879	3,506
その他	179	334
営業外収益合計	84,059	3,840
営業外費用		
支払利息	910	724
シンジケートローン手数料	—	20,166
その他	85	4
営業外費用合計	996	20,895
経常利益	192,076	135,681
税金等調整前四半期純利益	192,076	135,681
法人税、住民税及び事業税	28,052	18,811
法人税等調整額	42,935	24,111
法人税等合計	70,988	42,922
四半期純利益	121,087	92,759
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△45
親会社株主に帰属する四半期純利益	121,087	92,805

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	121,087	92,759
四半期包括利益	121,087	92,759
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	121,087	92,805
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△45

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

1. 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。収益認識会計基準等の適用により、有料職業紹介売上における早期退職返金条項につき、返金されると見込まれるサービスの対価に関し、従来は重要な返金が見込まれる場合には費用計上しておりましたが、変動対価に関する定めに従って、販売時に収益を認識せず返金負債を計上する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

収益認識会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

2. 時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。